

# 大系線における持続可能な方策の検討について

## 1 振興部会による議論の経過

令和6年3月（第5回振興部会） 次のとおり合意

- ・「持続可能な方策は、本格的な利用促進策等の実施後、一定期間内に取りまとめること」

令和7年10月（第10回振興部会） 次のとおり合意

- ・「令和7年度後半から、沿線自治体課長級による方策の相談や議論の準備を進めること」
- ・「具体的な議論は、期限ありきでないが、令和8年度中のとりまとめをめざすこと。議論は、令和8年度から新たな公式の協議体を設けて行うこと」

令和7年10月～（関係課長級打合せ）

議論の進め方や利便性を高める方策について検討を適宜実施

## 2 課長級による検討状況

### （1）令和8年度からの議論に関する枠組みについて（案）

1) 目的 大系線沿線地域の活性化の推進及び持続可能な発展に寄与することを目的とする

2) 対象区間 大系線（糸魚川・南小谷間） ※ JR西日本管轄区間

3) 名称 大系線（糸魚川・南小谷間）沿線地域公共交通検討会議  
※ 特定の法律に基づかない任意の協議体で議論を開始

#### 4) 構成員

委員：糸魚川市、小谷村、新潟県、長野県、JR西日本金沢支社、学識経験者  
オブザーバー：白馬村、大町市、北陸信越運輸局、JR東日本長野支社

#### 5) 議論内容

- ・沿線地域の公共交通の現状及び課題の分析
- ・上記を踏まえた、沿線地域の更なる活性化に向けた解決策の検討及びとりまとめ※  
※ 地域公共交通計画を策定することにより、地域がめざす姿、関係者の役割等を明らかにしつつ、国からも必要な支援を受けることが可能

以上について、令和8年度中に持続可能な方策をとりまとめる

### （2）利便性を高める方策に係る相談

#### 1) 大系線の現状及び課題の確認

大系線沿線自治体の地域公共交通計画等の内容確認や過去2年間の本格的な利用促進策の取組状況の振り返りを実施

#### 2) 方策の洗い出し

現状の鉄道の利便性を高めるための運行本数増加の可能性や観光列車の導入可能性、また、新交通システムを導入した他線区の事例を参考にした意見交換  
⇒ 今後の協議は検討会議に移し、公開の場で議論を実施する予定

## 3 今後のスケジュール（案）

4月	第1回	検討会議	有識者による講演、現状の共有	
6月	第2回	検討会議	大系線の課題及び目指す姿	
7月	第3回	検討会議	具体的な方策の検討	以降、適宜開催